

平成27年度 事業報告書

ケアハウス大慈

1. 《平成27年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《ケア理念》

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

3. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

4. 《最終目標》

～いきいきのびのびスマイリー運動～

●みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔。

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します。)

- ・生きがい・やりがいを大切にします。
- ・自分らしさを大切にします。
- ・笑顔溢れる温かい雰囲気大切にします。
- ・みんながしあわせになることを目指します。

5. 《中期計画》

- ①ケアハウス大慈の理念や方向性を周知する。
- ②ケアハウス大慈「らしさ」を共有し、みんなで作り上げていくという風土を作る。
- ③スタッフが福祉職ということやケアハウス大慈に勤めていることに誇りを持てる様にする。

6. 《部門別重点目標》

【大慈らしさの追求】～考える～

だいじなスタッフの育成

①考える介護の実施

A) 考える介護への環境整備

- ・マニュアルの見直しを実施（簡素化し実用性のあるものにする）
- ・マニュアルでは網羅できないゲスト一人一人のサポートにおいて統一する
- ・記録に基づいてサポートの検討ができるよう介護記録の取り方を見直す

4月より各フロアにて会議の際に話し合いの場を持ちマニュアルの見直しを行った。8月よりアセスメントと連動した形のマニュアルを導入したことによりプラン内容がしっかり反映されサポート方法の見直しまでの流れは出来つつある。記録については業務の合間に入力する事となっているが、細かい抜けは多々みられた。

B) 考える介護へのスタッフ育成

- ・目的にアセスメントシートを活用しアセスメント力の向上を図る
- ・その人の思いや色を反映し、人物像が浮かぶライフプランの作成
- ・事故報告書を基に各フロアで対策の検討を実施
- ・内部、外部研修を活用
- ・ご家族への対応、より良い関係づくりの構築
- ・指導者が適格に指導できるよう体制作りを行う

8月よりケアハウス全体でアセスメントシートをより分かりやすい内容に変更。個人情報
を分かりやすく整理し、人物像が浮かぶライフプランの作成に近づいてきたと思われる。
事故の対策については、ドキドキ報告書の提出に力を入れ、内容をスタッフで共有する事で
事故の件数を減らすよう努力した。その為、ドキドキ報告書の提出件数は昨年度と比較し、
1, 2 3 3件増の2, 5 8 2件の提出があった。逆に事故件数は昨年度と比較して2 4件減
少している。

ご家族対応については来園時にコミュニケーションを図るよう心掛け、プラン作成のアセ
スメント時にもご家族と連絡を取り合い状況の確認や、ご家族の思いを取り入れることによ
り良好な関係の維持・構築を図る事ができた。

②サービス向上

A) サービス向上委員会の継続

- ・苦情・相談の内容から抽出しサービスの向上を図る

B) マナー向上

- ・マナー向上の為、始業時、終業時のチェックシートを作成し活用する

C) 介護技術向上

- ・介護技術勉強会（知識の取得・介護技術の取得・想像力の取得）開催
- ・新人スタッフに対してシステム化した研修を実施する

D) 居住環境整備(環境チェック)

- ・対象者を選定し研修を実施することで、統一基準にてチェックを実施

※①②実施した項目において改善状況を随時確認していく

A) 苦情・相談報告書の提出件数は40件と昨年と比較し7件増加したが、まだまだ提出件
数が足りないと思われる。報告書についてはサービス向上委員会にて他フロアの職員を
含めて検討し、再発防止に努めた。しかし職員間の報告・連絡がきちんとなされていない
為にゲスト・ご家族に不快な思いをさせたケースが多々みられた。

B) チェックシートの作成・活用には至らなかった。管理職がその都度指導を行っているが、
統一した指導が行えていないのが現状である。来年度は神戸市老施連主催の接遇指導者
研修に参加し、施設内で統一した指導が行えるようしていきたい。

C) 各フロアにて勉強会を実施。介護技術については問題がある時はその都度フロア会議で
伝え、理学療法士に助言を貰いサポート方法の見直しを行った。今後OFF-JTを充
実したものにし、介護職員としてのレベルアップを図っていきたい。

D) 居住環境のチェックは出来ているフロア、出来ていないフロアがみられた。スタッフが
訪室時には確認をしているが、ゲスト・ご家族よりタンスに埃が溜まっている等のお声
も頂いており改善が必要と思われる

<経営部門>

①在園率95%以上、在籍率97%を維持する

A) ゲストの体調管理を行えるよう、他部署と連携する

B) 入院時は、スムーズに退院となるよう病院と連携し情報の交換を行う（1回/2W）

年間の在籍率は96.4%、在園率は92.2%となり、目標を達成する事はできなかった。在籍率の低さについては営業方法・手段を再考していく必要がある。
 在園率については入院者が平均4名（最大月6.6人）を超えた他、長期入院の方も多かった事が原因と思われる。

②待機者の確保に努める（10名）

A) 見学者の増加

- ・常時見学の受け入れ体制を作っておく
- ・ホームページを定期的に更新する

B) 見学者から待機者へ

- ・見学者、相談者に対し定期的にお困りでないか連絡を入れる
- ・アピールポイントを探し、宣伝方法の検討をしていく
- ・ケアハウス便りを発行し（2か月毎）事業所に配布する
- ・地域との交流の場所に参加する(年2回)

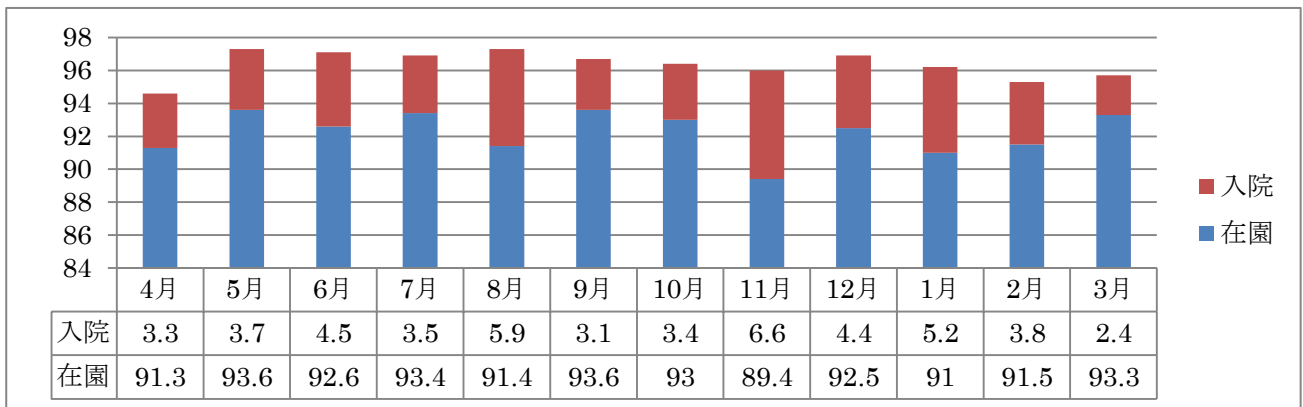
アピールポイントであった医療面が弱くなってきている事もあり宣伝方法としての軸が出来上がっていないが、園内外の行事などを主にした「だいじなお便り」を他事業所などに発信し見学者の増加へ繋げていった。また見学者には相談簿を記入して頂く事で、その後の連絡をとっていくようにしているが待機者の確保へは繋がっていない。

③人材確保と育成

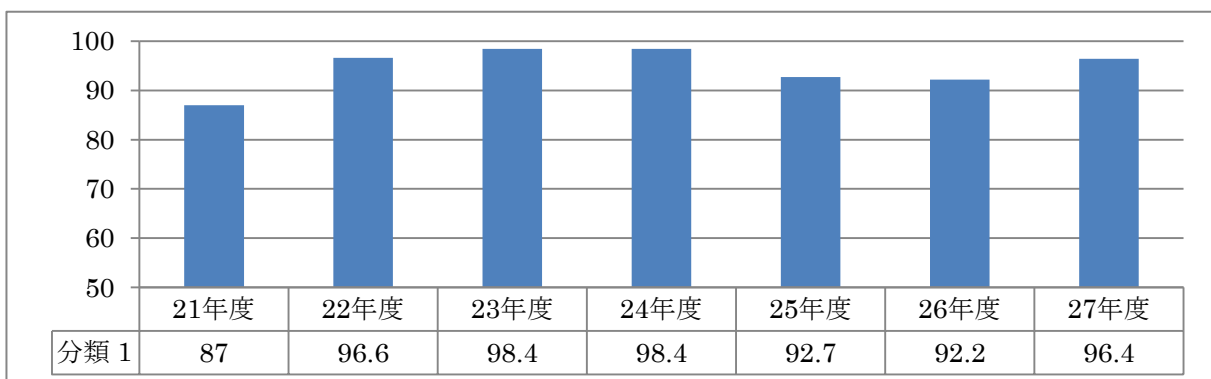
- ・老人部門全体で協力し、求人媒体の利用や学校訪問等を実施し人材確保に務める
- ・新人スタッフに対する研修のシステムを確立する

入職者に対する研修システムを再構築し27年4月から活用中である。新人スタッフのスキルの確認はもとよりメンタル面でのフォローにも繋がっており、指導者の指導のスキルアップにも繋がっている。今後も随時、確認・見直しをしながら継続していく

● 27年度月別充足率表



● 年度別充足率推移



●介護度別年齢別等人数表

平成28年3月31日時点での在籍数

最高滞在期間：7年8か月

| 要介護度 | 平成27年度 | | | | 平成26年度 | | | |
|-------|--------|------|------|------|--------|------|------|------|
| | 合計人数 | 男性 | 女性 | 平均年齢 | 合計人数 | 男性 | 女性 | 平均年齢 |
| 非該当 | 4 | 2 | 2 | 85.5 | 5 | 3 | 2 | 84.2 |
| 支援1 | 9 | 4 | 5 | 86.3 | 10 | 2 | 8 | 86.0 |
| 支援2 | 8 | 1 | 7 | 85.1 | 8 | 0 | 8 | 86.8 |
| 介護1 | 19 | 5 | 14 | 86.7 | 17 | 2 | 15 | 88.2 |
| 介護2 | 16 | 3 | 13 | 89.3 | 14 | 3 | 11 | 90.0 |
| 介護3 | 15 | 5 | 10 | 87.8 | 17 | 6 | 11 | 90.2 |
| 介護4 | 12 | 2 | 10 | 89.2 | 5 | 1 | 4 | 86.8 |
| 介護5 | 12 | 1 | 11 | 90.2 | 19 | 3 | 16 | 88.9 |
| 合計 | 95 | 23 | 72 | | 95 | 20 | 75 | |
| 平均介護度 | 2.3 | 1.77 | 2.4 | | 2.3 | 2.3 | 2.3 | |
| 平均年齢 | | 87.5 | 88.0 | 87.7 | | 89.8 | 87.4 | 88.1 |
| 最高年齢 | | 99 | 101 | | | 101 | 99 | |
| 最小年齢 | | 73 | 76 | | | 80 | 70 | |

<栄養科>

‘自分だったら’と考えられる厨房になる

①おいしく、笑顔になれる食事の提供

- ・食材をきざむことなく、常食・ソフト食・スルー食・ミキサー食（ゼリー）すべての方が、何を食べているのかが分かり、食べたいと思える食事の提供を継続する
- ・細かいゲストの要望に応えられるように、一人一人の好みを把握する
- ・厨房の業務を見直し時間を作ることで、副菜のニーズに応える

現在食材変更の要望以外に、個々のゲストに合わせた食事量の調整や食器の変更の対応を行うことができている。献立を作成する際に、代替えの多いゲストの事も考慮し全体メニューを決めている為、食事内容が被らないようにできている。しかし禁止食ゲストの細かい食事形態対応から、より複雑になっており、配膳ミスが無いよう確認時間が増えた為、栄養科や厨房職員の負担が大きくなっている。厨房職員の人数の事も考慮しながら、正確になおかつ美味しく、ゲストに満足していただける食事を提供できるよう配膳方法や確認方法を検討していきたい。

②食事や食事行事について、チェリッシュ委員会や担当者会議にて、スタッフ同士の意見交換がスムーズに行えることで美味しい食事の提供を行う

- ・ゲストの満足度を調査し（年2回）、おいしい又は満足と答えて下さる方を全体の75%以上を目標とする

5月に行った食事に関するアンケートでは、全体の80%が『満足している・ほぼしている』と答えて頂き目標を達成できた。しかし11月に行ったアンケートでは72%となってしまう目標を下回る結果となってしまった。この原因として、ゲストの細かなニーズの対応に追いつけなかったことが考えられる。フロアバイキングでは『大変満足・満足』のお答えが約半数しかなく、さらなる向上の為今後も検討が必要である。ティータイムで

はチェリッシュ委員と話し合い、ゲストのニーズに応えたメニューを取り入れる工夫をしていきたい。

今年度からご意見番を導入し、ゲストの意見をすぐにメニューに反映できるようになった為、委員会で話し合い多くのゲストに満足していただけるように検討する。

③栄養面を考えた食事の提供とサポート方法の提案

→栄養面や安全面を考えた食事の提供とサポート方法の提案

- ・食事サポート方法や嚥下について研修会等に参加して学び、個々のゲストに合ったサポート方法を介護スタッフへ提案する
- ・よりスムーズに安心・安全に喉を通り、必要な栄養量を確保できる食事を提供する

個々のゲストについて食事形態等の提案をおこなっており、実際にゲストの食事の様子を見て、介護職員と話し合うことで、適正な食事形態の変更ができています。

嚥下に関する研修会に参加したり、他施設の栄養士の意見を聞くことで食事量の少ないゲストへのアプローチや個々に合った補助食品の提供が出来ている。

●行事表（栄養科実施）

| 月 | 日 | 行事名 | 月 | 日 | 行事名 |
|----|------|-------------------|-----|-----|---------------|
| 4月 | 3・5日 | 家族会お菓子バイキング | 10月 | 12日 | 2.3.6Fティータイム |
| | 13日 | 2.3.6Fティータイム | | 15日 | 2Fチェリッシュお食事会 |
| | 24日 | 6Fバイキング | | 23日 | 屋台風バイキング |
| | 28日 | 4.5Fティータイム | | 27日 | 4.5Fティータイム |
| 5月 | 1日 | 鯛焼き移動販売 | 11月 | 31日 | 鯛焼き移動販売 |
| | 5日 | こどもの日 | | 11日 | チェリッシュお菓子移動販売 |
| | 10日 | 母の日 | | 24日 | 3Fチェリッシュお食事会 |
| | 14日 | 2Fバイキング | | 25日 | チェリッシュおやつ作り |
| | 22日 | チェリッシュ柏餅作り | | 27日 | 鯛焼き移動販売 |
| 6月 | 8日 | 2.3.6Fティータイム | 12月 | 18日 | すなつくちいちゃん |
| | 10日 | イカ焼き移動販売 | | 24日 | クリスマス（行事食） |
| | 21日 | 父の日 | | 25日 | 餅つき大会 |
| | 22日 | 鯛焼き移動販売 | | 28日 | 鯛焼き移動販売 |
| | 29日 | 3Fバイキング | | 31日 | 年越しそば |
| 7月 | 1日 | 7周年記念バイキング | 1月 | 1日 | おせち |
| | 7日 | 七夕（行事食） | | 7日 | 七草粥メニュー |
| | 8日 | ベビーカステラ移動販売 | | 12日 | チェリッシュおやつ作り |
| | 10日 | 4Fバイキング | | 20日 | 鏡開き（ぜんざい） |
| | 16日 | チェリッシュおやつ作り（どら焼き） | | 22日 | 4Fチェリッシュお食事会 |
| | 24日 | すなつくちいちゃん | | 26日 | 鯛焼き移動販売 |
| | 24日 | 土用の丑（行事食） | | 3日 | 節分メニュー |
| | 28日 | 鯛焼き移動販売 | | 8日 | 2.3.6Fティータイム |
| 8月 | 10日 | 2.3.6Fティータイム | 2月 | 17日 | 5Fチェリッシュお食事会 |
| | 11日 | 5Fバイキング | | 23日 | 4.5Fティータイム |
| | 19日 | あんまき移動販売 | | 27日 | 鯛焼き移動販売 |
| | 25日 | 4.5Fティータイム | 3月 | 3日 | 雛祭りメニュー |
| | 30日 | 5Fゲスト100歳記念パー | | 14日 | にぎり寿司パーティー |

| | | | | | |
|----|-----|----------------|--|-----|--------------|
| | | ティー | | | |
| | 31日 | 鯛焼き移動販売 | | 15日 | チェリッシュおやつ作り |
| 9月 | 14日 | 6Fバイキング | | 17日 | 6Fチェリッシュお食事会 |
| | 21日 | 敬老の日（行事食） | | 24日 | すなっくちいちゃん |
| | 23日 | 大慈な感謝祭 | | 25日 | 鯛焼き移動販売 |
| | 25日 | 鯛焼き移動販売 | | | |
| | 26日 | 芋堀り | | | |
| | 27日 | 十五夜（行事食） | | | |
| | 28日 | おやつ作り（スイートポテト） | | | |
| | 28日 | 焼き芋パーティー | | | |

<看護部>

①口腔ケアの大切さを伝えていく

- A) 生きる事の喜びである口からの食事摂取を続ける事が出来るよう口腔ケアの重要性について理解を深め、肺炎・誤嚥の予防に努める

日々の関わりを通して口腔ケアの大切さを職員に伝えた。看取り期の口腔内の観察ケアを行い、継続したケアが行えるよう指導を行った。

②その人らしい生活を全スタッフと共に作る

- A) ゲストが望んでいることを把握し、不安が軽減できる看護を見つける
- ・関係職種との連携を強化する（カンファレンスにて情報交換を密に行う）
 - ・日頃からフロアとの関係づくりに努める（フロア会議参加など）
 - ・ゲストの希望を聴き取り医務で共有、必要であれば、他部署と情報交換を行う

B) ご家族と信頼関係を築く

- ・来園時には、声をかけ日ごろの様子や現状を伝える
- ・ご家族が不安に思うことを把握していく
- ・ケアカンファレンスに参加し他職種と連携する

ケアカンファレンスに参加しゲストご家族の希望や思いを知り、個別性のあるケアを行った。他部署・医務内でのカンファレンスにて情報の共有を行った。不安を表に出していただけるようご家族来園時には声かけをおこない、ゲストの健康状態の報告を行った。

[年間業務]

| 月 | 項目 | 内容 |
|---------|---------------|---|
| 5月 | ゲスト定期検診 | 胸部X線・採血 |
| 6月・7月 | スタッフ定期検診（全職員） | 胸部X線・採血・検尿・検便・身長・体重・聴力・視力 心電図、腰椎X線（CWのみ） |
| 10月・11月 | ゲスト・全スタッフ | インフルエンザ予防接種 |
| 1月 | 職員定期検診（CWのみ） | 採血・腰椎X線・検尿・聴力 |

[往診・受診]

| 曜日 | 午前 午後 | 医師名 | 診療科目 | 頻度 |
|----|-------|-------|------|------|
| 月 | 午前・午後 | 坪内淳一 | 内科 | 毎週 |
| | 午前 | 平山 尚哉 | 歯科 | 毎週 |
| 火 | 午前・午後 | 坪内淳一 | 内科 | 毎週 |
| | 午後 | 松尾信二 | 精神科 | 毎週 |
| 水 | 午前 | 真継 猛 | 整形外科 | 毎週 |
| | 午後 | 松浦 肇 | 皮膚科 | 月2回 |
| | | 平山尚哉 | 歯科 | 毎週往診 |
| 木 | 午前 | 坪内淳一 | 内科 | 毎週 |
| | 午後 | | | |
| 金 | 午前 | 坪内淳一 | 内科 | 毎週 |
| | 午後 | | 糖尿内科 | |
| 土 | 午前 | 坪内淳一 | 内科 | 毎週 |
| | 午後 | 松尾信二 | 精神科 | |

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診

※外部主治医往診可能

<機能回復訓練>

①ケアの質向上に資する取組

A) 24時間のケアを意識し、移乗・移動サポート・ポジショニングをゲスト・スタッフ双方にとって、優しいサポートとなるように調整する。

・現場でサポート方法を確認し、書面にてサポート方法を伝える。

・定期的にサポート方法 OJT を実施し、スタッフが現場で活かせる知識を提供していく。

移乗・移動方法に関する修正・提案、また臥床時のクッションの当て方を全フロアにて行う事ができた。また、必要な場合は書面にてその方法を伝達し、全てのスタッフが同じサポート方法になるよう指導を行った。新人スタッフからサポート方法の見直しの要請もあり、ゲスト・スタッフのお互いにより良いサポート方法を提供する事ができている。

②機能訓練の提供体制の充実

A) スタッフの異動に伴い提供体制が変わるが、現状の機能訓練加算者数を維持する。

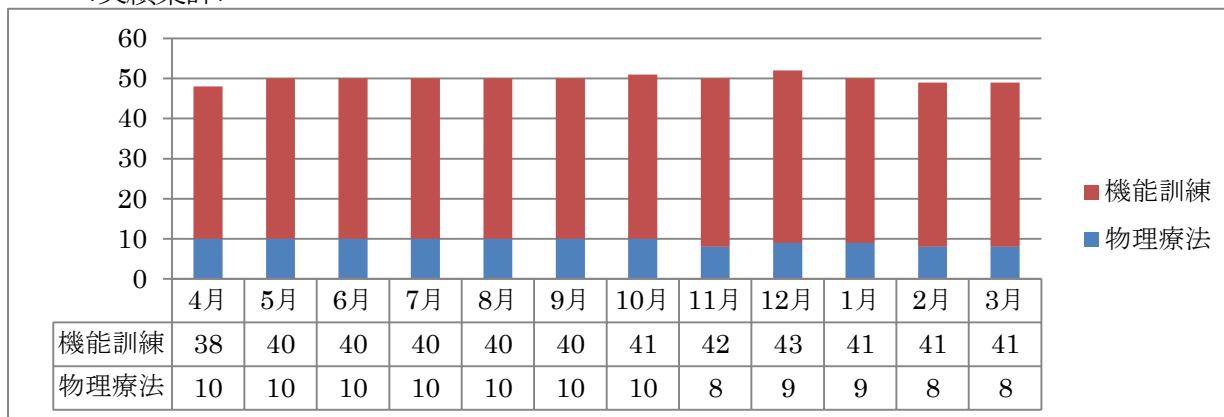
B) コミュニケーション方法・福祉用具の使用促進・生活環境での調整を現場と行っていく

・フロア会議での提案

・各委員会での報告・確認

機能訓練では40人を超える事ができ、物理療法実施者も含めると約50人のゲストに対して機能訓練を提供する事ができた。サポート方法等に関する取り組みでは、OJT形式での勉強会を実施。移乗ボード・スライディングシートの活用を試すなど、より現場で生きる持ち上げないサポート方法を提案する事ができた。

<実績集計>



■その他

①ケアハウス大慈で認知症サポーター講座を開催。認知症サポーターを養成し、家族・地域住民の認知症理解を促進させる。

- ・認知症サポーター講習の開催

施設内での実施は出来なかったが、井吹西地域福祉センターにて認知症サポーター研修を実施。当初30名の申し込みであったが、当日は45名の参加と多くの方に関心を持っていただいた。

7. 《行事の実施内容・反省点》

○買い物ツアー

→各フロアの特徴に合わせて企画、毎月と各月に行うフロアに分かれ実施

○映画上映会

→フロアごとにシアタールームを活用

○シルバー体操

→毎週水曜日に講師の先生により実施、楽しく運動が出来るとの事で好評である

○フラワーセラピー

→参加ゲストが決まっており、お誘いはするが、参加人数は一定となっている。

○ミュージックセラピー

→毎月、講師の先生により、季節に合った歌を歌ったり、体を動かしたり、ビデオで思い出しながら歌う等、毎回、飽きないように工夫して下さっており、好評である。

○絵手紙

→100円で参加できるというお手軽さであるが、参加人数が多くて10名程度となっている。

●行事表（フロア実施）

| 月 | | 内容 |
|----|----|--|
| 4月 | 2F | 淡路へのドライブ・昼食：お花見目的ではなかったが花が沢山咲いており、散歩中足を止めて会話が弾んだ。また、食事を見るから食欲をそそる物であり箸が進み「美味しい」「美味しい」と喜ばれる。普段あまり表情の乏しいゲストからも笑顔が見られた。 |
| | 3F | 西神中央公園にお花見へ出かける。埋蔵文化センターを見学後、公園にて茶話会を行った。 |
| | 4F | 三木のホースランドパークにお花見外出を行う。桜を見て「きれい」「また来たい」と話されていた。普段外出をされない方からもそのような声があった。 |

| | | |
|----|-----|--|
| | 5 F | 加古川へお花見に出かける。美味しいお肉を食べて頂き満足したという声を多く頂いた。 |
| | 6 F | 時期的な問題もあり、綺麗な状態でお花見を満喫とはいかなかったが、途中で喫茶店に行き熱いコーヒーやケーキを食べゲストは喜ばれていた。 |
| 5月 | 2 F | 初夏の和菓子と共に、点てた抹茶を楽しんで頂く。ゆったりとした中でのお茶会が出来なかったが、和菓子は美味しかったようで喜んで頂けた。 |
| | 3 F | フロアにてホットケーキパーティーを行う。「おいしい。こんな初めて食べたわ」との声が聞かれ満足されていた。 |
| | 4 F | ケアハウス敷地内の園庭でバーベキューを行う。目の前で焼いたお肉を見て「こんなの久しぶり」と笑顔で話される方が沢山おられ、「美味しい」と喜んで頂くことができた。普段食事摂取量が少ない方も沢山食べておられ、喜んで頂くことができた。 |
| | 5 F | フロアでたこ焼き作りを行う。普段食べない食事に、いつも食事量が少ないゲストもたくさん食べる等の姿が見られた。 |
| | 6 F | 神戸どうぶつ王国に遠足に出かける。天候にも恵まれ色々な動物とふれあう事が出来た。 |
| 6月 | 2 F | たこ焼きパーティーを行う。生地を返す事が出来るゲストは少なく、調理を楽しんで頂く事は思った以上に出来なかったが、食事は沢山食べて頂く事ができ、またいつもとは違う食席にて他のゲストとの交流があり会話を楽しんでおられた。 |
| | 3 F | フロアにて焼きそばパーティーを実施。ご自身で焼かれるゲストもおられ楽しんで頂けた。 |
| | 4 F | フロアでみたらし団子作りを行う。お団子をゲストに作っていただきながら「これは私が作ったからあとで食べる」等、笑顔で話され楽しそうな様子であった。 |
| | 5 F | フロアでサンドウィッチ作りを行う。御自身の好きな具材でサンドウィッチを作り食べて頂いた。かなり好評で、「またしてほしい」という声が多数あり喜んで頂けた。 |
| | 6 F | ワイン城にてバーベキューを実施したが、生憎の雨でしかも、車に乗りきれず往復するハプニングもあったが、ゲストはとても美味しかったと満足していただけた。 |
| 7月 | 2 F | フロアにて「暑い夏を乗り切ろう！」とソフトクリームなど食べて頂いた。普段水分量が少ないゲストも「おいしい」と喜ばれていた。 |
| | 3 F | ほうらく堂へ外出し甘味物を召し上がられる。かき氷を注文されるも量が多く「おいしいけどもう無理やわ」と満足されていた。 |
| | 4 F | フロアでかき氷バイキングを行う。大きなかき氷機をみてゲストも本格的と言われ、かき氷には白玉団子やあんこ、フルーツ等盛り付けをご自身で行い「美味しい」と喜ばれていた。 |
| | 5 F | 和食「さと」に外出に出掛ける。何種類かのメニューの中からご自身で好きな物を選んで頂、食べられる。天ぷら定食を注文されたゲストは「出来立てが美味しい」と大変喜ばれていた。また、普段の食事では食べることのできないお刺身を食べられ、喜ばれているゲストも多かった。 |
| | 6 F | 土用の丑の日に外注でうな井を発注し、フロアで召し上がって頂く。ゲストもうなぎが食べれた事でとても満足されたご様子であった。 |
| 8月 | 2 F | 西神中央にて外出に出かける。ほとんどのゲストが「お寿司」を注文される。普段傾眠の強いゲストや言葉数が少ないゲストも表情良く、ゲストからは「また連 |

| | | |
|-----|-----|---|
| | | れて行って」との言葉が聞かれた。外出をする事は家族様も大変喜ばれていた。 |
| | 3 F | フロアにてそうめん流しを行った。自動でそうめんが流れる器械を購入しそれをみて「色々な物があるんやね。そうめんも良く冷えてておいしいわ」といった声が聞かれ、久々のそうめんに満足されていた。 |
| | 4 F | 回転寿司「官太」に外出し普段食べる機会の少ないお寿司を食べて頂いた。 |
| | 5 F | 納涼祭を行う。焼きそばやチャーハン、餃子等を用意し、お祭りの雰囲気を楽しんで頂いた。ノンアルコールビールも用意し、普段水分量の少ないゲストも「ビール美味しいね」と笑顔で飲まれていた姿が印象的であった。 |
| | 6 F | 水ようかんをフロア内で作り召し上がって頂く。水ようかんだけでは物足りないため、ミニパンケーキも作成した。ゲストも暑い中、冷たく冷えた水ようかんを美味しそうに召し上がっていた。 |
| 9月 | 2 F | フロアにて焼きそばパーティーを行う。栄養科との連絡ミスにてホットプレートで温めるだけになってしまい反省する所はあったが、いつもと違う雰囲気にてゲストの笑顔も多く見られた。 |
| | 3 F | 外食ツアー(王将)を行う。普段とは違ったお食事に「おいしいね。たまにはこういったもんもいいね」との声が聞かれた。 |
| | 4 F | お好み焼きと、フルーツポンチ作りを行う。お好み焼きをゲストの目の前で焼いて食べたあとデザートフルーツポンチを食べて頂く |
| | 5 F | 天ぷらパーティーを行う。フロアで揚げたての天ぷらを食べて頂いた。キスの天ぷらを「美味しい！」と笑顔で食べられているゲストを見て、スタッフも嬉しい気持ちになった。 |
| | 6 F | クレープ作りをフロアで実施。ゲストも普段食べた事のないクレープを美味しいねえと言われながら召し上がられる。また同時にミニどら焼きを作って一緒に召し上がって頂いた。 |
| 10月 | 2 F | フロアにて運動会を行う。特にボーリングでは「もう一回！」と自ら立ち上がり参加されるゲストもおられ、盛り上がった。その後紅白饅頭を食べて頂き楽しい時間を過ごして頂いた。 |
| | 3 F | チェリッシュにて『秋の味覚～サンマ祭り～』を行う。さんまを目の前で焼き、新米、まつたけのお吸い物を準備した。普段、全量召し上がられないゲストも全量召しがられ、大変好評であった。 |
| | 4 F | ハロウィン限定のミスタードーナツを用意し、ハロウィンの飾り付けをリビングに行い食べて頂いた。普段と違う飾り付けとドーナツにゲストから驚きと「美味しい」という声が多数みられた。 |
| | 5 F | 紅白に分かれて運動会を行う。パン食い競争や綱引き等相手に負けない様に頑張る姿が印象的であった。また、スタッフも参加し、「飴さがし競争」を行い顔を白くして頑張った。粉のついたスタッフの顔を見て楽しそうに笑われているゲストが多く、楽しんで頂いた。 |
| | 6 F | 回転寿司を食べに行く。一回では行けない為、4回に分けて実施。普段、あまりお寿司を召し上がる機会がなく、皆さんとても満足された様子であった。 |
| 11月 | 2 F | 西神南での外食を行う。地下鉄を利用した際は切符を改札に通そうと四苦八苦されるゲスト、逆にスムーズに通されたゲストもおられ、改めて何が出来るのか？出来ないのかの発見ができた。食事は「おいしい」と笑顔多く見られた。 |
| | 3 F | 道の駅 みき『ながさわ』へ外出行事を実施。「ながさわ」でお食事を摂られ、その後、道の駅で買い物を楽しむ。お食事の値段も安く、ボリュームもあつた |

| | | |
|------|-----|---|
| | | め「あんなに安くていっぱいあるならまた行きたい」との声が聞かれた。 |
| | 4 F | ごちそう村への外出を行う。事前にゲストにお伝えてしたときから「楽しみ、いつなの？」という声が多く外出時にはお好きなメニューを選んで頂き「満足した。またどこか連れて行って」という声もあり喜んで頂くことができた。 |
| | 5 F | 神戸動物王国へ外出を行う。普段見ることのない「ふくろう」やその他の動物を見て楽しんで頂けた。犬や猫、うさぎのコーナーもあり犬を抱っこして嬉しそうにしているゲストもおられた。 |
| | 6 F | お茶会を開催する。恒例行事となり、皆様とても楽しまれ抹茶を点ててお茶菓子と一緒に召し上がられた。とても良いお点前であり、お話に花が咲いた。 |
| 1 2月 | 2 F | クリスマス会を行う。全員で歌を唄いケーキをご用意した。最後にゲスト・職員全員の集合写真をとり笑顔が多く見られた。 |
| | 3 F | クリスマス会を行う。クリスマス特別メニュー、クリスマスケーキを召し上がって頂き、全ゲスト・スタッフと歌を唄った。また最後にプレゼントを用意し、ゲストからは「今年はいい物もらいました。」と笑顔も見られていた。 |
| | 4 F | クリスマス会を行う。ケーキとプレゼントをゲストに用意し、またご家族のピアノ演奏とオペラの歌声が鳴り響き他階のゲストも聴きにこられ演奏中、ゲストは目を閉じて集中され本格的な演奏に拍手が鳴りやまなかった。「すごかった、プロだね」という声があり、満足して頂くことができた。 |
| | 5 F | クリスマス会を行う。スタッフも色々な衣装に着替え、クリスマスの雰囲気を楽しんで頂けた。クリスマスプレゼントをお渡しすると「ありがとう」と言われ笑顔を頂けた。 |
| | 6 F | クリスマス会を行う。骨付き鶏肉を提供したが、食べ残される方が多かった。ビンゴ大会では盛り上がり、プレゼントをもらい喜ばれていた。 |
| | 1月 | 2 F |
| 3 F | | 年初めにフロアにて全ゲスト参加にて、書初め、福笑い、お茶会を開催。笑い声が絶えず楽しんでいただけた。 |
| 4 F | | フロアでぜんざい作りを行う。ゲストから「甘いものがやっぱり美味しい」と笑顔がみられた |
| 5 F | | 初詣の外出を行う。寒い事から参加されるゲストは少なかった。参加されたゲストは神社でお賽銭を入れ、一生懸命拝まれており、何をお願いしたか尋ねると「健康に過ごせますようになってお願いした」と笑顔で言われていた。 |
| 6 F | | 書き初めを行う。ゲストによっては見られたくない等の理由で書いて頂けなかったゲストもいたが、皆さんとっても綺麗に今年の抱負を書いて頂けた。 |
| 2月 | 2 F | ゲストの写真を貼りゲストのトピックスをカルタにし、カルタ大会を行った。普通のカルタのカードではなかったので楽しんで頂けた。 |
| | 3 F | フロアにて豆まき、恵方巻きを食べて頂く。スタッフが鬼に扮してゲストに豆に見立てたボールを投げいただき楽しむ事ができた。 |
| | 4 F | 節分の雰囲気を感じて頂く為にスタッフに鬼の格好をしてお手玉を投げてもらった。ゲストからスッパリしたと笑顔が多くみられ面白かったという声を多く頂いた。 |
| | 5 F | スタッフが鬼に扮装し、玉入れの玉を豆に見たてて鬼役のスタッフに投げて頂いたがあまり強く投げたら鬼がかわいそうと言われるゲストも数名おり、ゲストの優しさに改めて気付かされた。 |

| | | |
|----|-----|--|
| | 6 F | 節分の行事を行う。豆だと危険なため、豆に見立てた新聞紙をたくさん準備し、ゲストに投げて頂いた。最後は玉入れと節分にはあまり関係の無い行事も行ったが、喜んで頂けた。 |
| 3月 | 2 F | チェリッシュにてお好み焼きを楽しんで頂いた。 |
| | 3 F | たこ焼きパーティーを行う。ゲスト自身に焼いて頂き、普段召し上がることの少ないたこ焼きを食べ満足して頂けた。 |
| | 4 F | たこ焼きパーティーを行う。たこ焼きをスタッフが焼くのを見て「おいしそう」とゲストから「たこ焼き好き」と楽しみにされる声があり、「美味しいね」とおかわりをされる方も沢山おられた。 |
| | 5 F | ティオ舞子の中にあるお店へ外食に出掛けた。明石海峡大橋が目の前にあり眺めもよく「きれいね～」とその雰囲気を楽しまれていた。その後、1階にあるスーパーへお買い物に行き、自分の目で見て商品を楽しそうに選ばれていた。「また、連れてきてね」との声もあり、大変喜んで頂けた。 |
| | 6 F | ホワイトデーにちなんだデザートを作る。レーズンの苦手なゲストもいるため、事前に確認し好きな方だけレーズンのトッピングを行った。マンシュマロを使ったデザートが好評であった。 |

8. 《会議の実施内容》

①チェリッシュ委員会（毎月）

→ケアハウス大慈の食事をより良いものにするを目的とし、全体の行事食やおやつ作り、スナック等の行事を企画している。また、毎月ゲストの体重や食事摂取量から、変化を発見し対応を検討している。

②行事委員会

→感謝祭の実施に向けて、話し合いを行っている。スタッフ有志による模擬店を行う事が決定している。実施するスタッフや、詳細は後日検討し決定する予定。

③感染防止対策委員会（毎月）

→マニュアルの見直しや、感染時の対応について想定した話し合いを行った。今年度は感染症が流行する事はなかったが、対策を常に検討した。

④RM委員会（毎月）

→前月に起きたドキドキ・事故について各フロアより報告。それに対してのフロアで立てられた対策について、再検討を委員会で行っている。

⑤マナーアップ委員会（毎月）

→言葉遣い、電話対応について話し合った。D-1グランプリの種目・内容を決め、大慈弥勒園と合同で実施した。

⑥設備・災害委員会（隔月）

→2ヶ月に1回の実施で、各階の設備関係の報告を中心とし、修理等の確認を行っている。建物も7年を超え修繕箇所が増えてきているため、細目に報告を行っている。

災害に関しては、年間計画を元に訓練等の実施を行っている。夜間通報訓練は定期的を実施しており、各階もスムーズに実施できている。

⑦入浴・排泄委員会（偶数月）

→各階で問題点を抽出し、それについて話し合い、フロアに持ち帰りスタッフに周知徹底するように行った。

⑧サービス向上委員会（毎月）

→施設内で起こった苦情相談の内容を検討し、再発防止に努めた。また、言葉遣いや不適切なケアについても委員会内で検討をした。

⑨エコ・節約委員会（不定期）

→エコキャップの収集や、ゴミの分別方法について話し合っている。

⑩看取り介護委員会（毎月）

→看取りについての職員向けの研修を実施。今後、看取り後のカンファレンスの持ち方、内容の検討を行っていく予定。

⑪労働衛生委員会（毎月）

→労働環境のチェックと腰痛予防への取り組みを行った。職員健康診断を通して職員の健康の保持増進に努める。次年度よりストレスマネジメントへの取り組みを開始する。

⑫大慈な会議（毎月）

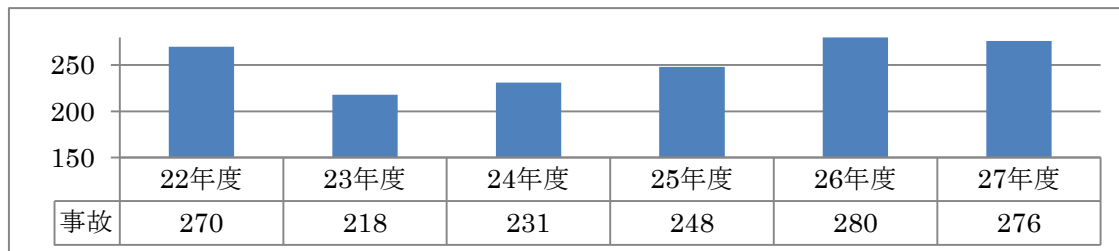
→施設長・副施設長・相談員・リーダー・サブリーダー・各部署代表が集まり、情報の交換・報告・連絡・相談を行った

9. <<リスクマネジメント報告>>

☆事故の定義・・・膝が地面に接地した時点で事故とみなす。

①報告件数

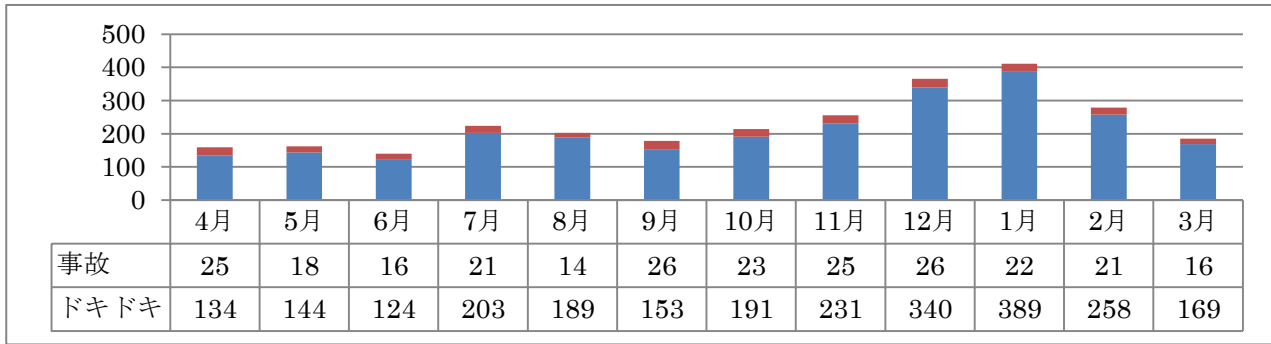
今年度は、ドキドキ報告書の増加を目標にし、前年度比1,000件増といった目標は達成できた。しかしそれに比例して事故件数が減少するといった様子は見られなかった。来年度は、ドキドキ報告書の内容に着目し一つひとつ対策を検討・実施していくことにより事故件数が減少するようにシステム構築を図る



| 27年度 | | | | 26年度 | | | |
|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|
| 報告件数 | 合計件数 | 事故 | ドキドキ | 報告件数 | 合計件数 | 事故 | ドキドキ |
| | 2,838件 | 256件 | 2,582件 | | 1,629件 | 280件 | 1,349件 |

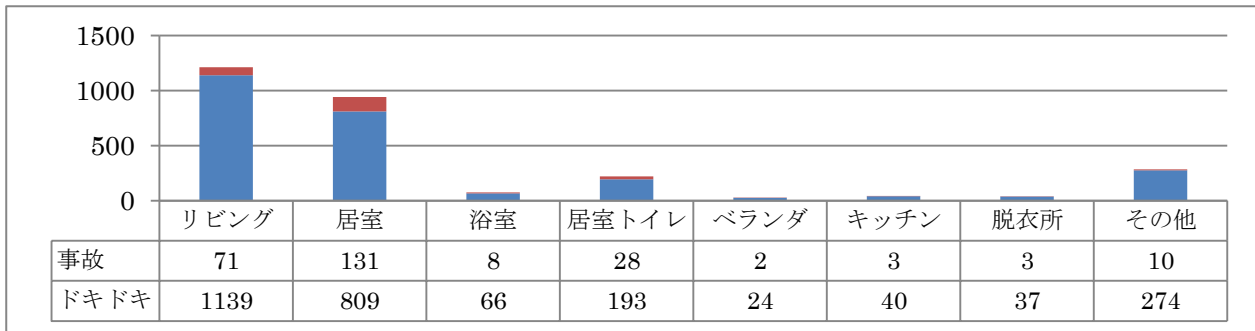
○内訳

| 平成27年度 | | | | 平成26年度 | | | |
|--------|------|-----|------|--------|------|-----|------|
| 報告件数 | 合計件数 | 事故 | ドキドキ | 報告件数 | 合計件数 | 事故 | ドキドキ |
| 2F | 449件 | 98件 | 351件 | 2F | 239件 | 94件 | 142件 |
| 3F | 654件 | 26件 | 628件 | 3F | 204件 | 68件 | 136件 |
| 4F | 500件 | 27件 | 473件 | 4F | 164件 | 43件 | 121件 |
| 5F | 291件 | 74件 | 217件 | 5F | 357件 | 48件 | 309件 |
| 6F | 944件 | 31件 | 913件 | 6F | 666件 | 27件 | 639件 |



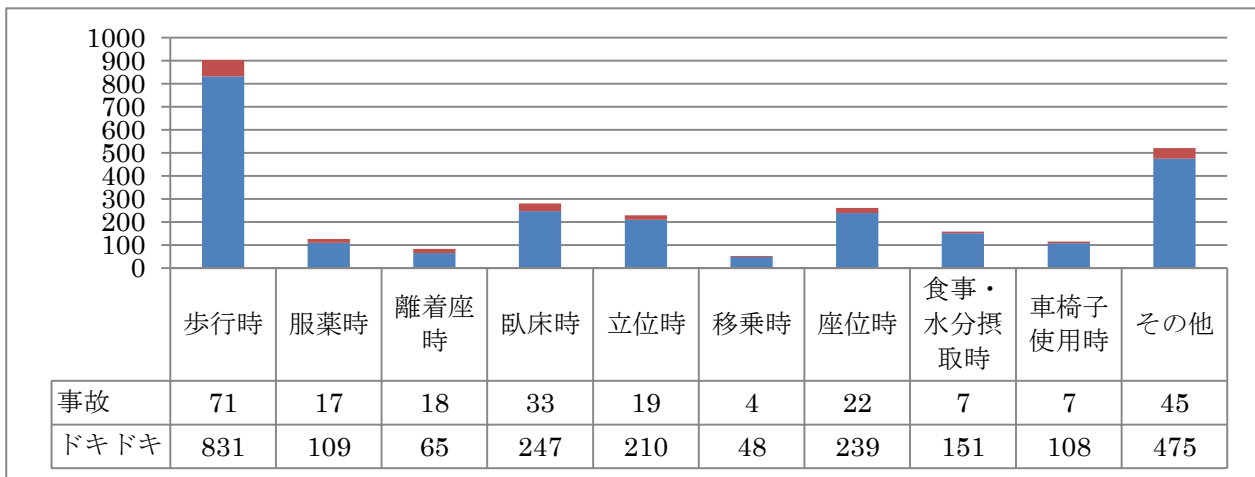
②発生場所別件数

リビングでのドキドキ報告書件数が最も多い理由の一つに、スタッフの目が届き易く、それに比べ居室での事故が多くなっている理由は、1日を通して居室で過ごされるゲストが多く、スタッフの目が届きにくく、事故に至ったと考えられる。



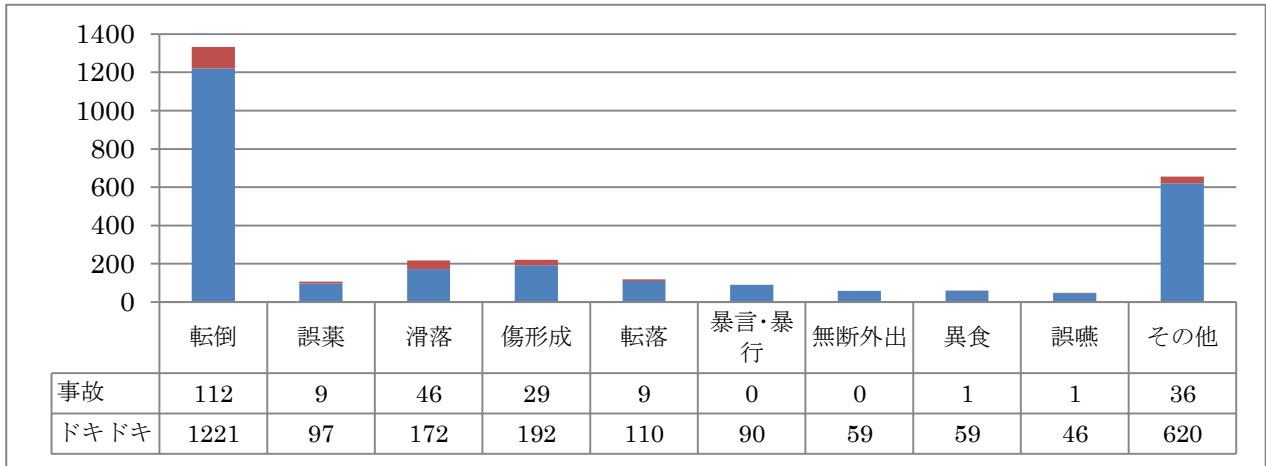
③発生状況別件数

歩行時の事故・ドキドキ報告書が群を抜いて多く、これは歩行ができるゲストが多いというケアハウスの特徴として表れている。



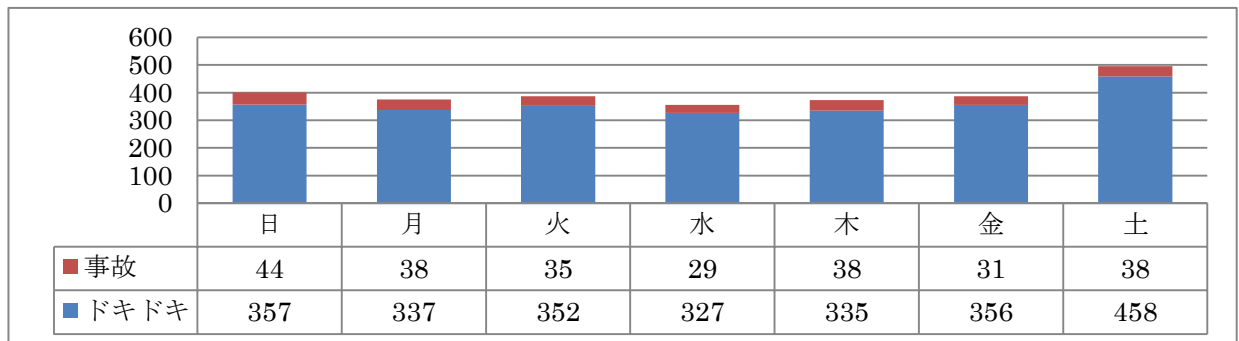
④発生内容別件数

転倒事故、ドキドキ報告件数が群を抜いて多く、これは発生状況別にも記載したがケアハウスでは歩行ができるゲストが多いことが考えられる。また滑落事故のみ事故件数に対してドキドキ報告件数が少なくなっているのは、滑落事故においてベッドからの滑落が最も多く、居室内でスタッフの目につきにくいことが考えられる。



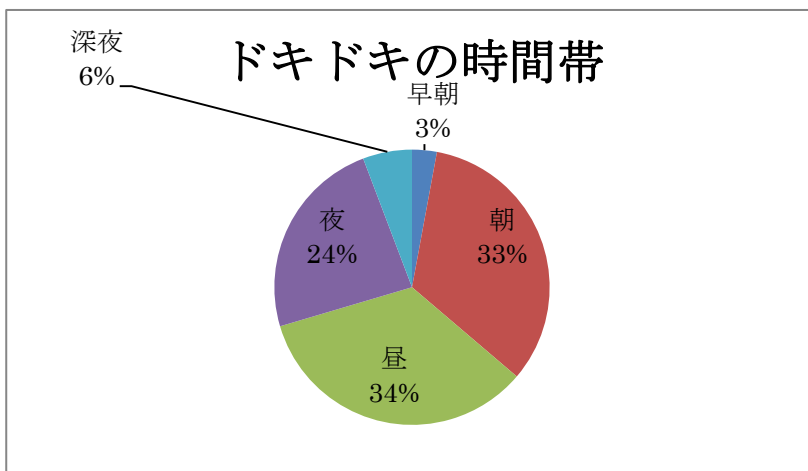
⑤曜日別件数

曜日別に見て大きな差はないが、土曜日・日曜日において事故件数が多いのはパート職員が出勤しておらず、日勤帯の出勤人数に差があるためと考える。

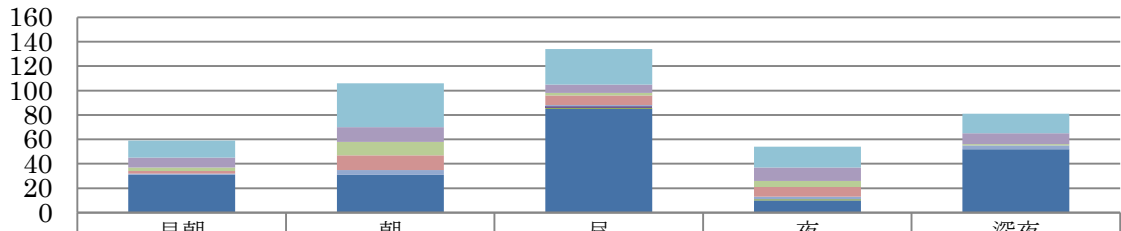


⑥時間帯別件数

時間帯別ドキドキ報告件数においては朝・昼ともに大きな差は見られない。事故に関しては日中が最も多く、ゲストの活動時間に起因している。



事故の時間帯別内訳



⑦まとめ

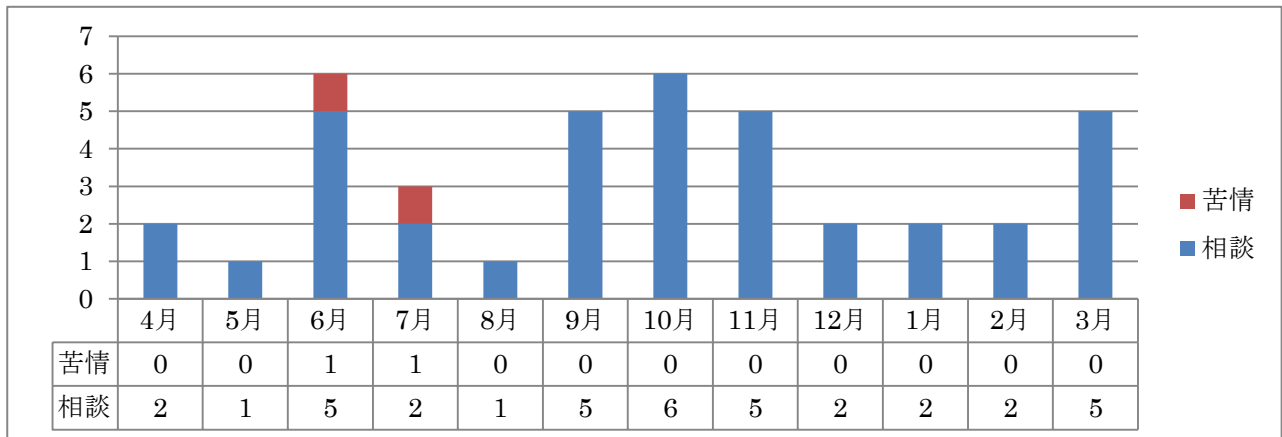
今年度はドキドキ報告書の件数増加を目指し取り組んだ。件数増加は結果として表れたが、フロアによって報告件数に差があり、事故件数の減少とまでは至らなかった。来年度はドキドキ報告内容の検討を行えるようなシステム作りを図り、事故件数減少に向かうように進めていく。

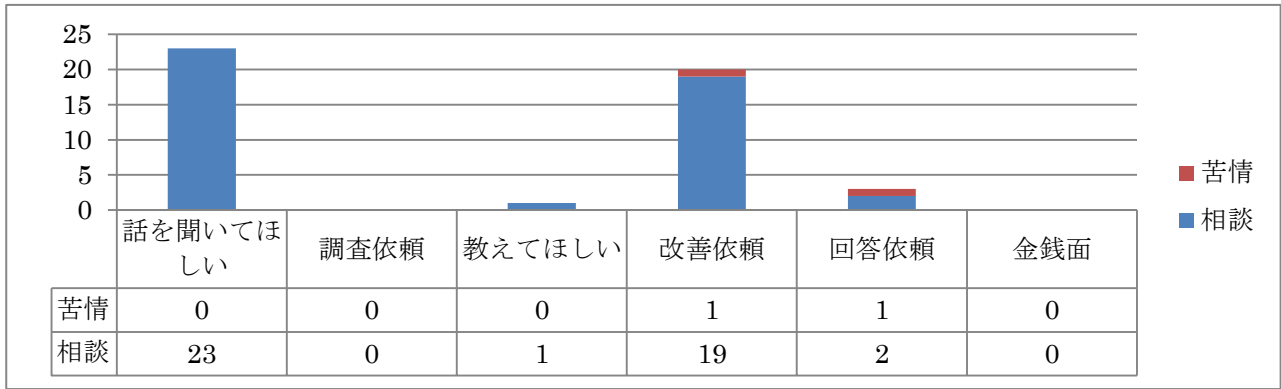
10・《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数

| 27年度 | | | | 26年度 | | | |
|------|------|----|-----|------|------|----|-----|
| 報告件数 | 合計件数 | 苦情 | 相談 | 報告件数 | 合計件数 | 苦情 | 相談 |
| | 40件 | 2件 | 38件 | | 33件 | 7件 | 26件 |





○主な内容

ゲスト・ご家族に対する報告・連絡が足りないため、不快な思いをさせてしまった事例、また施設内でスタッフ間同士の報告・連絡が足りないため、結果としてゲスト、ご家族に不快な思いをさせてしまった事例が多々見られた。

○まとめ

些細な報告・連絡を忘れない事がゲスト・ご家族の信頼を得る事に繋がる事を改めて全スタッフに伝え、様々な事例を施設で共有する事により同じ失敗を繰り返さないよう施設全体で取り組んでいく必要がある。また、入居ゲストより他入居ゲストに対しての相談が11件みられた。認知症を有する方、身体に障害を有する方等、様々な方が施設にはご入居されている為、常に職員がゲスト間の人間関係に目を配りトラブルを回避できるよう努めていきたい。

1.1・総括

12月に残念ながら不適切なケアの事案が発生し、介護保険課に相談。内容の精査により、スタッフがゲストに対して発した言葉が心理的虐待として認定された。

日頃は温和なスタッフがきつい口調になりこのような結果に至ってしまった為、虐待防止の勉強だけではなく、職員のメンタルヘルスのケアも重要であると感じられた。

日常のケアにおいてはケアハウス全体でアセスメントシートを分かりやすい内容に変更した。これにより、細かなサポート方法が分かりスタッフも考えて一つひとつのサポートを行えるようになってきた。施設の職員全てが同じレベルでサポートが出来る域までは達していないが、道筋は出来てきたように思われる。またリスク管理においてはリスク委員を中心に職員の意識改革を行い、報告書の提出数が昨年の約2倍となった。

これにより確実に事故が減少したとはいえないが、職員の介護の視点は良い方向に向いていると思われる。そして最終目標である《みんなが生き生き、のびのび、笑顔で過ごせる終の棲家》を実現していきたい。

経営面では在籍率96.4%、在園率92.2%と、いずれも目標値を下回ってしまった。金銭的な問題等でゲストの同法人内の特別養護老人ホームへ異動された方が年度内で11名おられ、在籍率の低さに影響していると思われる。在園率については入院者の入院期間が長期化した事が原因と考えられる。今後は入院期間が短くなるよう、早めの受診で体調管理を行っていくことに加え、同法人内に従来型特養、ユニット型特養があることをメリットとして営業を積極的に行い待機者を増やしていきたい。